関西大学人権問題研究室 公開シンポジウム

参加無料

スポーツとジェンダー
～「男らしさ」の競技場と性／別～

日　時：2019年11月29日（金）13：00～16：10（開場12：30）

場　所：関西大学千里山キャンパス 尚文館1階 マルチメディアAV大教室

日常生活やメディアを通して、実に様々なスポーツで女子アスリートたちの活躍が見られる時代になった。かつては「男のスポーツ」と思われていた領域でも女子選手の活躍と競技レベルの向上が目覚ましい。来年は東京でオリンピックが開催され、世界中のトップアスリートたちのパフォーマンスに多くの人が釘付けになるに違いない。しかし、「男らしさの競技場」とも例えられる競技スポーツへの女性参加の道のりは決して平坦なものではなかった。現在でもスポーツは非常に多くのジェンダー、そしてセクシュアリティに関わる問題を抱えている。このシンポジウムでは、欧米の異性愛者の男性を中心に作られてきたモダンスポーツが抱えるジェンダー問題について、スポーツとジェンダー研究の専門家３名をお招きし、「男らしさ」の競技場に「女」が入っていくこと、そこで活躍することで直面する困難と、その困難が映し出すスポーツのジェンダーポリティクスについてご報告頂く。

プログラム

◆「オリンピックニュースとジェンダー　―日本の報道傾向と問題―」

小林　直美（愛知工科大学・准教授）

専門は、テレビニュース、ジェンダー。内閣府男女共同参画局・政策調査員、山形大学・助教を経て現職。博士（社会学）。

◆「サーフィンのオリンピック種目化がもたらす意義と課題」

水野　英莉（流通科学大学・准教授）

専門は、社会学、ジェンダー論。中京大学先端共同研究機構体育研究所特任研究員。博士（文学）。

◆「スポーツにおける公平性と多様な性」

松下千雅子（名古屋大学・教授）

専門は、ジェンダー論、クィア理論、批評理論。著書に『クィア物語論』（人文書院、2009年、第16回福原賞受賞）がある。博士（文学）。

フロアとの質疑応答

司会・コーディネーター：井谷　聡子（関西大学文学部・准教授）

*　　*　　*

●予約は不要です。多数のご来場を歓迎します。
●手話通訳が必要な場合は、11月７日（木）までに人権問題研究室へご連絡ください。

主催 関西大学人権問題研究室
〒564-8680　吹田市山手町3-3-35　阪急千里線「関大前」駅下車
Tel 06-6368-1182　Fax 06-6368-0081
ホームページ http://www.kansai-u.ac.jp/hrs